

特集！陸上自衛隊東部方面音楽隊

～陸上自衛隊朝霞駐屯地 東京都練馬区～



東京芸術劇場で行われた第 6 6 回定期演奏会（写真提供：東部方面音楽隊）

目次

CONTENTS

- 1 特集！陸上自衛隊東部方面音楽隊 ～陸上自衛隊朝霞駐屯地 東京都練馬区～
- 2 北関東防衛局の役割について ～防衛施設の建設等～
- 3 第 3 7 回九都県市合同防災訓練
- 4 防衛施設周辺地域の環境整備事業
- 5 北関東防衛局幹部紹介（平成 2 8 年 7 月 1 日付け）
- 6 我が街紹介 ～群馬県榛東村～
- 7 お知らせとお願い

平成 2 8 年 9 月

特集！陸上自衛隊東部方面音楽隊

音楽隊とは

国民との架け橋として

陸上自衛隊には、大臣直轄の中央音楽隊をはじめとして、各方面隊、師団及び旅団隷下の全 21 個部隊の音楽隊が、北は旭川、南は沖縄までの駐屯地に配置されています。

音楽隊が担う主要な任務として「儀式のための演奏」「隊員の士気高揚」があります。国賓や高官に対する儀仗における演奏、陸上自衛隊が執り行う各種式典に華を添える演奏が儀式のための演奏にあたります。また士気高揚のための演奏としては、演習及び災害派遣に参加中の部隊に対して、隊歌などを演奏して隊員の鋭気を養う慰問演奏があげられます。



米軍高官に対する儀じょう



広報演奏

もう一つの重要な任務として「広報のための演奏」があげられます。各地域の自治体や地方協力本部等からの要請を受けて、各地ホール等におけるコンサート、様々なイベント会場における屋外コンサートやパレードを行っています。最も多い部隊では年間約 100 回にのぼる演奏を行っています。私たち音楽隊が皆様の目に触れる、最も多い機会ではないでしょうか。

また、1964年に開催された東京オリンピックにも自衛隊音楽隊として協力し、近年においては、東日本大震災などの災害派遣に従事した音楽隊が、被災地の復興にあたるとともに、被災者の方々に対する慰問演奏を行っています。

東部方面音楽隊

部隊紹介

陸上自衛隊東部方面音楽隊は、昭和 35 年に創隊され、東京都練馬区の朝霞駐屯地に所在しています。関東甲信越に静岡県を含む 1 都 10 県を活動範囲として、隊員の士気高揚、儀式、広報のための演奏を任務とし、これまでに長野冬季オリンピック、大喪の礼、即位の礼などの国家的諸行事に参加しました。近年では、新潟中越・中越沖地震および東日本大震災災害派遣における音楽演奏、また、礼砲隊と共演した「大砲を使ったコンサート」、東部方面隊創立記念日行事「野外演奏会」など、年間約 100 回の演奏を行っています。



東部方面音楽隊隊舎



大砲を使ったコンサート

様々な演奏活動

地域との架け橋として

東部方面音楽隊は、吹奏楽はもとより、小編成のアンサンブル演奏や在日米陸軍軍楽隊との合同演奏会、被災地での慰問演奏等、ジャンルや壁を越え幅広い演奏活動を行っています。



室内楽演奏会



東日本大震災慰問演奏



米軍との合同演奏

その他にも、地域との交流を深めるため、中高生の吹奏楽部員に対する技術指導も行っており、今後も地域と自衛隊をつなぐ「架け橋」として、多くの方々との「ふれあい」を深めながら演奏活動を続けてまいります。



中学生に対する演奏指導



ランチタイムコンサート



自衛隊音楽まつり

第 66 回定期演奏会



第 66 回定期演奏会が、平成 28 年 9 月 4 日（日）東京芸術劇場コンサートホールにて開催されました。

プログラムは全 7 曲で、P. グレインジャー / リンカーンシャーの花束、真島俊夫 / 三つのジャポニスム他。

アンコールには、オリンピックマーチ、栄光の架橋などオリンピックタイヤーにふさわしい選曲で皆様に大変喜んでいただきました。

今後の主な演奏予定

演奏会名	日時	場所
自衛隊記念日観閲式	平成 28 年 10 月 23 日 (日)	陸上自衛隊朝霞訓練場
自衛隊音楽まつり	平成 28 年 11 月 11 日 (金) 11 月 12 日 (土) 11 月 13 日 (日)	日本武道館
第 37 回室内楽演奏会	平成 29 年 3 月 9 日 (木) 開場 18 : 15 開演 19 : 00	川口総合文化センター リリア音楽ホール

写真提供：東部方面音楽隊

陸上自衛隊音楽隊は、**音楽を通して、人の役に立ちたい方**を求めています！



詳しい内容は、最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。

北関東防衛局の役割について



管轄区域図

北関東防衛局は、関東信越地方の内1都7県を管轄し、自衛隊及び在日米軍と地方公共団体や地域住民を繋ぐ「架け橋」であると共に、防衛施設の建設や装備品の調達に係る監督検査等の業務を行っています。

前号では、当局の自衛隊・米軍と地域住民等を繋ぐ架け橋としての役割を紹介しましたが、今号では、防衛施設の建設工事の事例及び建設工事を円滑に進めるために取り組んでいる施策について紹介します。

防衛施設の建設工事の事例

当局では、管内の自衛隊や在日米軍が使用する飛行場、通信施設、庁舎、隊舎及び病院など幅広い施設の建設を行っており、各種事態の発生時に、部隊等が迅速に展開し、その能力を最大限に発揮できるような施設の建設に努めています。

建設工事の事例として目黒区から市ヶ谷地区に移転整備した防衛研究所について紹介します。防衛研究所は、わが国の安全保障政策等についての政策研究や、防衛省の幹部職員等の教育を行う防衛省の機関として東京都目黒区に所在していましたが、防衛省内部部局の安全保障政策の立案と政策研究との連携強化を図り、防衛政策立案への一層の貢献を果たすため、防衛省に隣接する旧国立印刷局市ヶ谷センター跡地へ移転整備したものです。

施設整備の概要は、庁舎F1棟が、鉄筋コンクリート造、地上7階、地下2階、延べ面積約11,000㎡を新設し平成28年6月末に完成、庁舎F2棟が、鉄骨鉄筋コンクリート造、地上5階、地下1階、延べ面積約7,600㎡の既存建物を改修し、平成27年11月末に完成しています。

庁舎F1棟の1階には、一般の方も利用可能な史料閲覧室が設置され、バリアフリーへの対応、レファレンスブースの導入など利用者に配慮した施設となっています。



加賀門側からF2棟、左奥にF1棟

建設工事を円滑に進めるための施策

○施設整備工事に関する意見交換会の開催

8月4日(木)、北関東防衛局において、管内の陸海空自衛隊、機関及び北関東防衛局の施設担当者が一堂に集い、施設整備工事の現状に理解を深め、相互の連携強化を図り、今後の業務を円滑に執行することを目的に意見交換会を開催しました。

今回の意見交換会には、管内の部隊等から85名、北関東防衛局からは調達部長をはじめ関係職員31名が参加し、双方から施設整備工事を取り巻く状況等について発表を行い、相互理解を深めました。

北関東防衛局としては、今後も継続的に意見交換会を開催し、管内の各自衛隊等との緊密な信頼関係を築くことにより、防衛施設の円滑な整備を進めていきたいと考えています。



○防衛施設建設に係る優秀工事の顕彰

北関東防衛局が発注し、平成 27 年度に完成した建設工事において、工事目的物の出来形又は品質の優れているものであって、他の模範とするにふさわしい又は調達業務の円滑な遂行に協力若しくは援助があり、その功績が認められるものを優秀工事として顕彰し、入札参加者の受注意欲を高め、建設工事及び工事目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的として、平成 21 年度から実施しているものです。



7月20日(水)、北関東防衛局において、調達部長から顕彰状が授与されました。

前列左から、株式会社近藤組 関東支店、アイサワ工業株式会社 東京支店、ナガヤス工業株式会社、浦安工業株式会社、株式会社TOSYS



7月22日(金)、調達部長が佐渡市の伊藤建設株式会社を訪問し、同部長から顕彰状が授与されました。

第37回九都県市合同防災訓練

9月1日防災の日に九都県市合同防災訓練(※)が、さいたま市を震源とする震度6強の直下地震が発生したとの想定のもと、さいたま新都心周辺で自衛隊、警察、消防や民間企業など約一万人が参加し、実施されました。

中央会場では、安倍総理をはじめ、稲田防衛大臣や関係閣僚が参加の下、「つながり」をテーマとして、実践的な訓練が行われ、当局から平井局長と佐藤局次長が会場入りし、県内の防災関係機関と国など多数の防災関係機関が連携した救出救助活動等の模様を視察しました。



訓練を視察する安倍総理と稲田防衛大臣(前列右側)



災害訓練(自衛隊の重機によるがれきの撤去等)



訓練を視察する平井局長

当日は当局も局防災訓練として、職員安否確認訓練を実施するほか、多くの局職員の訓練参加を募り、各種訓練を実地に研修する等、防災意識・地域防災力等の向上に資する絶好の機会となりました。また、実施会場の一角に展示ブースを設置し、当局が管内地域における防衛行政の拠点としての業務を行っていることを紹介しました。



展示ブースを視察する平井局長と佐藤局次長

(※) 政治・経済などの中枢機能が集積した首都地域である埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市及び相模原市の九都県市が合同で、首都直下地震及び東海地震を想定し、市民、防災関係機関及び国と連携・協力して行う訓練

防衛施設周辺地域の環境整備事業

防衛施設は、わが国の安全保障に欠くことのできないものです。しかしながら、航空機の騒音や演習場での訓練等で周辺地域に影響を及ぼす場合があります。そのため防衛施設と周辺地域との調和を図るため、防音工事の助成、住宅移転などへの補償、障害防止工事への助成、民生安定施設の整備への助成などの施策を行っています。

さやま花多来里の郷 ～東京都瑞穂町～

都内有数のカタクリの群生地である「さやま花多来里の郷」の整備工事が完了し、平成28年3月装いも新たに開園しました。

この事業は、特定防衛施設関連市町村が行う公共用の施設の整備又はその他の生活環境の改善若しくは開発の円滑な実施に寄与する事業に対して交付する特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、特定防衛施設として指定されている米軍横田飛行場の関連市町村である瑞穂町が、平成24年度から4箇年をかけて観賞用デッキや園路等の整備を行いました。

この整備により、住民の憩いの場としての環境の向上と観光の振興に寄与しています。



北関東防衛局幹部紹介 (平成28年7月1日付け)

局長 平井 啓友

7月1日付けで北関東防衛局長を拝命しました平井です。

北関東での勤務は10年ぶり2回目、前回は平成18年から19年にかけて、当時はまだ「北関東防衛局」の前身である「東京防衛施設局」の施設調整官として1年半ほど勤務をいたしました。

着任早々、関係機関や市町村等を訪問させていただいておりますが、過去にお世話になった方との再会もあり心強く思うと同時に、今回の勤務でまた、たくさんの方々とお話できることを楽しみにしております。

当局においては、1都7県という広範囲を所掌していることに加え、横田飛行場へのオスプレイ配備、木更津駐屯地への日米オスプレイの共通整備基盤設置、硫黄島での空母艦載機着陸訓練、市ヶ谷地区におけるPAC3配備や朝霞駐屯地における陸上総隊司令部新編に向けた施設整備等々、防衛施設内外の様々な課題を抱えているなか、今回は局長という立場で業務に携わることとなりますが、これらの課題を含め、業務の円滑な遂行に向けて、周辺地域と自衛隊、米軍との良い関係に貢献したいと考えております。

また、昨年秋の防衛装備庁発足に伴う組織改編では、全国の地方防衛局で唯一となる装備部が設置されており、装備関係も含めてさらに風通し良く業務を行うべく、職員一丸となって努力する所存です。ご支援の程よろしくお願いたします。



次長 佐藤 隆章



7月1日付けの人事異動で、北関東防衛局次長を拝命しました佐藤です。

北関東防衛局の管轄地域には、重要な防衛施設が多数所在しています。これらの防衛施設と地元の皆様との調和を図るため、私も微力ながら努力してまいりたいと考えています。

関係者の皆様には、様々な面で御教示いただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

総務部長 長谷川 邦之



7月1日付けで総務部長に着任しました長谷川です。

北関東防衛局の勤務は、前身の東京防衛施設局時代を通して初めてですが、防衛施設の所在する地元の皆様には、地域における防衛行政の拠点としての重要な役割を担えるよう行政サービスの向上等に取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

我が街紹介 ～群馬県榛東村～

四季 元気 あったか榛東

榛名山の東麓に広がる本村は、東に関東平野を望み、西には榛名山がひかえる、自然豊かな都市近郊農村地帯です。緑豊かな自然環境に恵まれ、北関東有数の栽培面積を誇る榛東ぶどう郷では、8月～9月のシーズンになると多くの家族連れでにぎわいます。

本村は、本年第6次榛東村総合計画を策定し、10年後のむらづくりの将来像を「子どもに夢をみんなに福祉と安心を」と描いています。特に、健康増進、健康寿命延伸策を中心として、健康診査や健康相談等の定期的開催、「妊娠・出産・子育て」に対する切れ目のない支援として、子育て支援モバイルサービス、不妊・不育治療に対する助成、ロタウイルス等の任意予防接種に対する助成、保育料・給食費の一部無料化、子育て支援策として、学童保育所・子育て支援センターの運営、放課後子ども教室などの各種事業を実施します。さらに、子どもたちが安心して通学できるよう通学路の見守りを実施し、防犯対策として、防犯カメラ、防犯灯の設置を進めます。「子どもを育てるなら榛東村」となるよう、様々な子育て施策を展開していきます。

秋には村をあげて「むらづくり産業祭」を開催し、多くの農業関係者や団体をはじめ、友好都市協定を締結している茨城県大洗町などにも参加していただき、大賑わいとなります。今後は産業・観光・特産物等の優れた資源と商工業を融合させた「榛東村ブランド」を確立させ、榛東村の魅力を存分に活かした企業誘致施策や新産業の進出・観光・交流人口の増加施策を展開することで、さらなる村の発展に取り組みます。



榛東村のぶどう狩りの様子



榛東村の特産品 しんとうワイン

地元のぶどうを原料に、压榨、発酵、ろ過、貯蔵まで行います。工場見学や試飲もどうぞ!!

自衛隊との良好な関係の構築

本村には第12旅団司令部及び陸上自衛隊相馬原駐屯地が立地していますが、春の桜祭り記念行事や夏の盆踊り大会を通じて、日頃から村民との交流を積極的に図るとともに、共存共栄の良好な関係を築いています。



駐屯地夏祭り（しんとうふるさと太鼓）



防衛施設周辺対策事業

本村は、防衛施設との調和を図るため、国から助成を受け、様々な施設整備を実施しています。特に、総合グラウンドと体育館は平成17年に整備され、村民の健康維持と交流の場として活用されています。



人工芝で整備された総合グラウンド内サッカー場

文・写真とも榛東村に寄稿していただきました。

榛東村マスコットキャラクター
「しんとうちゃん」もお待ちしております!

航空機へのレーザー照射は犯罪です

お知らせとお願い



【北関東防衛局 HP にバナーを掲載】

- 自衛隊機・米軍機等に対するレーザー照射による妨害事案が多発しています。
 - このような行為は、墜落等による大惨事を招きかねない大変危険で悪質な行為です（注）。
 - このような行為を行っている人を見かけた方は、110番通報をお願いいたします。
- （注）刑法の威力業務妨害罪に該当する場合は3年以下の懲役又は50万円以下の罰金。
航空危険行為処罰法の航空危険罪に該当する場合は、3年以上の有期懲役。
お問い合わせ先：北関東防衛局企画部地方調整課（代表）048-600-1800（内線：2234）

第37回防衛問題セミナー開催のお知らせ ～千葉県柏市～

テーマ：大規模災害への備え ～地域の防災対策と自衛隊の活動～

開催日：平成28年11月10日（木）18：00～20：30（開場 17：30）

場 所：アミュゼ柏 クリスタルホール（千葉県柏市柏6丁目2番22号）



山村 武彦 氏

**第1部【最近の災害に学ぶ、
命と地域を守る準備と行動】**
防災システム研究所長
防災・危機管理アドバイザー
山村 武彦 氏



第2部【大規模災害への自衛隊の取組】
陸上自衛隊 第1空挺団 副団長
1等陸佐 濱本 博文



1等陸佐 濱本 博文

参加方法：事前申込制 定員300名（入場無料） ※定員に達し次第締切
 ※ 申込みは、北関東防衛局ホームページ掲載の参加申込書に記載の上、FAX又はメールにてご応募下さい。
 ※ 都合により、内容の一部を変更する場合があります。
 お問い合わせ先：防衛省北関東防衛局企画部地方協力基盤整備課
 TEL: 048-600-1844

★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html

北関東防衛局広報

検索